

第3回 垂水市総合開発審議会 会議録

1. 日 時 : 平成 29年10月3日(火) 14:30 ~ 15:40
2. 場 所 : 垂水市役所 3階 委員会室
1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 会長あいさつ
4. 審議事項
3. 会 次 第 : 報告1)
第5次垂水市総合計画基本構想(素案)の策定スケジュールの変更について
協議1)
第5次垂水市総合計画基本構想(素案)の意見確認一覧について
5. その他
6. 閉会
4. 出 席 者 : ・尾脇 雅弥 市長 ・長濱 重光 副市長 ・大石 充 委員
 ・岩元 明 委員 ・小牟田 哲司 委員 ・宮下 直弥 委員
 ・井之上 瞳 委員
5. 欠 席 者 : ・佐野 雅昭 委員 ・小栗 有子 委員 ・川崎 あさ子 委員
 ・川畑 博海 委員 ・前田 晶子 委員
6. 事 務 局 : ・角野 課長 ・米田 補佐 ・堀留 係長
 ・脇 副主幹 ・有馬 主査 ・太崎 主任主事

事務局 … 只今から、平成29年第3回垂水市総合開発審議会を開催いたします。本日ご多忙の中、本審議会にご出席頂きまして、誠にありがとうございます。

はじめに、現在、垂水市総合開発審議会委員につきましては、定数10名に対しまして9名で構成をいたしているところでございます。このたび、行政分野の外部視点の強化を目的といたしまして、岩元明様へお願いをしたところ快く審議会委員をお引き受け頂いたところでございます。先程、岩元委員への辞令の交付を行わせて頂き、本日の委員会より参加をいただいているところでございます。

それでは、審議に入る前に岩元委員より簡単な自己紹介をお願いいたします。

A委員 … お見受けしましたところ、大石会長をはじめ、大変お忙しい方々ばかりで、なおかつ、垂水市が大変お世話になっている方々ばかりでございます。

その中にありまして一番暇そうで近所のご隠居さんという感じの意見でも良いのかなと思ったところがございますが、皆様方とはちょっと視点が違うのかもしれませんが、どうかよろしく願いいたします。

事務局

… どうもありがとうございました。引き続きまして、本日の審議会の欠席の報告でございます。佐野委員、小栗委員、前田委員、川崎委員、川畑委員は所用により欠席の報告を受けております。以上、5名の方が欠席でございますけれども、垂水市総合開発審議会条例第6条第2項により、過半数の委員の皆様のご出席をいただいておりますので委員会は成立をいたしております。なお、本審議会は、垂水市付属機関の会議の公開に関する要領第2条に基づきまして、会議を公開といたしますので、よろしく願いいたします。

それではここで長濱副市長がご挨拶を申し上げます。

副市長

… 皆様、こんにちは。副市長の長濱でございます。本日は市長がご挨拶を申し上げるところでしたが、昨日から上京をしております、まだ戻っておりませんので、代わりまして、私の方でご挨拶を申し上げたいと思います。

まずは先程ご紹介がありましたように、新たに岩元委員に審議会の委員になって頂きました。ご快諾頂きまして誠にありがとうございます。よろしく願いを申し上げます。

さて、前回の審議会におきまして、委員の皆様方には基本構想の案につきましてご意見や要望等について意見の提出をお願いをいたしましたところ多くのご意見等を賜りましたことをまずはお礼申し上げたいと思います。現在私どもは併せまして、市民の皆様方にパブリックコメントを実施しております。そして、また過去3回市民を対象としました公開講座を実施いたしましたけれども、この3回出席して頂きました皆様を対象に今月の15日にフォローアップ公開講座を実施する計画でございます。過去3回の公開講座での意見等がこの計画案にどのように反映されているかということをご確認頂きながら、そしてまたその場で新たなご意見等賜るところを考えているところです。これらの策定過程を含めまして、最終案をまとめ上げ12月議会に議案として提出したいと考えております。総合計画は市長も申し上げておりましたけれども、今後のまちづくりにとりまして非常に重要な位置づけと考えておりますので、引き続き委員の皆様方の忌憚のないご意見等を賜りますようによろしく願いを申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

事務局

… ありがとうございます。続きまして大石会長にご挨拶をお願いし、引き続きまして審議の方の議長を務めて頂きますよう、よろしく願いいたします。

会長

… まずはじめに、皆様に配布しております議事録ですけれども、もし内容について問題がなければ、このままHPに公開することになると思います

けれどもよろしいでしょうか。目をとおして頂けたと思いますけれども、よろしいですか。

【異議なし】

ありがとうございます。そうしましたら異議なしということで、お願いいたします。

まず、基本構想素案の策定スケジュールの変更につきまして、協議に入る前に事務局の方からご説明頂きたいと思っております。

事務局

… どうもお疲れ様です。企画政策課担当の脇でございます。本日の次第なのですが、報告する前に資料確認をさせていただきます。かがみ文が1つ、上のほうに資料1というのが1つ、あと資料2、あと補足資料というのが1つになります。あともう1つが別紙というかたちで、あと念のため現在、市民向けパブリックコメントをしております基本構想素案を皆様のお手元にお配りいたしております。お手元に持っている資料と同じだと思って頂ければ問題ありません。私の方でまず、前回策定スケジュールの方で今回第3回審議会におきまして、基本構想の答申のまとめをさせていただくとお話をしておりましたが、策定スケジュールの変更がありますので、まずは資料1をご覧ください。この資料に沿って説明するかたちにはなると思うのですが、1策定スケジュール変更理由としまして、これまで審議会の役割としまして次の2つをお願いしておりました。①総合計画の策定プロセスや策定の考え方をチェックすること。②総合計画骨子案等について専門的見地から審議をいただくこと。というのをお願いしておりました。しかしながら①の策定プロセスをチェックする視点としまして、先程、副市長よりお話がありましたとおり、現在、市民の方々から意見を伺うパブリックコメントの実施期間中であるということ。これまで全3回の公開講座を進めているのですが、この結果報告を兼ねてフォローアップ公開講座を10月15日に開催をさせて頂きたい、というかたちで現在この2つの策定プロセスの結果を踏まえ、今後答申をまとめる必要があるのではないかと判断をしたところでございます。

次に、2策定スケジュール案につきましてご説明をさせていただきます。10月3日(火)第3回垂水市総合開発審議会、本日のこととなります。こちらにつきましては、次回答申をまとめるための資料1意見確認一覧表を説明し、各委員で共有化を図り意見を出し合ってもらい答申案のベースとなる意見を本日集めさせて頂ければと思っております。そうしたことで10月15日にフォローアップの公開講座を垂水市商工会で開催し、パブリックコメントの集計結果を踏まえた上で11月7日に第4回の垂水市総合開発審議会を開催させて頂き、そこで答申書のまとめを行い市長へ提出をさせて頂ければと思っております。あと補足ではございますが、11月10日頃に庁内の政策調整会議、垂水市経営会議を開催しまして、最終的な基本構想の庁内最終決定の手続きを取り、11月15日に基本構想案を12月議会へ議案提

出というかたちで進めさせてもらえればと思っております。以上、変更理由等についての報告とさせていただきます。

会長 …… ありがとうございます。今、ご説明があったとおりののですが、スケジュール変更につきましてご意見とかありますでしょうか。よろしいですか。

先程、気になったのが、資料 1 の真ん中の審議会 1 が資料 2 だと思いません。

事務局 …… 2 になります。すみません、間違えました。訂正をお願いいたします。

会長 …… よろしいでしょうか。そうしましたら、まず今日は今ご説明があったとおり資料 2 をもとに意見を出し合うことになりますので、ご協力の程よろしくをお願いいたします。まず、数多くの意見が出ましたので、事務局の方から意見について説明をいただいてその後に審議の方にいきたいと思いません。よろしくをお願いいたします。

事務局 …… 引き続きよろしくをお願いいたします。先程、指摘がありましたように、こちら資料 2 第 5 次垂水市総合計画基本構想（素案）に対する意見確認一覧という資料を使ってご説明させていただきます。今回、意見の集約をさせて頂き、全部で 33 件、委員の方から意見をいただいております。非常に貴重なご意見ありがとうございました。説明をさせていただくのですが、まず 1 ページ目こちらのほうが第 1 部第 3 章社会・経済・環境の変化、時代の潮流というかたちで 3 件、ご意見を頂いたかたちでございます。こちらの方が現在我が国を取り巻く時代の潮流というかたちで基本構想の 3 に記載をしているのですが、そちらの方に対して理解を示していただくような内容となっております。貴重なご意見となっておりますので、今後庁内関係課と共有化を図り、活用させて頂ければと思っております。

次に 2 ページ目をお開きください。こちらが第 1 部の第 4 章、時代に引き継ぐ垂水らしさ、時代をつくる垂水らしさという項目が 2 ページ目以降になるのですが、こちらの意見が多くなっております。垂水市の現状の交通体系でしたり、財政状況の表など入れているのですが、こちらのご意見に対しましては現在素案の修正作業を進めて、意見を踏まえながら修正作業を進めておりますので、また今後盛り込むかどうかというのは検討をさせて頂いてもらえればと思います。また最終的には皆様に最終案というかたちでお示しができるものと思っております。

次の 3 ページ目の 9 番から 20 番になります。ページで言えば 6 ページになります。こちらの方がもっとも意見が多くなっておりまして、今回公開講座を実施しておりますその意見のまとめに対して指摘があるのですが、基本的に大まかに言えば結果報告書というのを皆様にお配りはしているのですが、結果報告書がしっかり作られているのに対して基本構想の素案では上手くまとめがされていないので工夫に努めてほしいという意見が出さ

れております。ご指摘に対しましては、今後基本構想の素案の意見をふまえて修正作業を行いまして各公開講座の講師の方にご確認頂いたものを、再度 10 月 15 日に開催しますフォローアップ公開講座で市民の方に意見を伺って最終的に修正作業を進めていきたいと考えているものでございます。1 部の方が以上となっております。

次に 7 ページ目が基本構想の本体部分になります。第 2 部第 1 章将来像に関しまして、今回まちの将来像を「九つの彩り豊かに健やかな人を育むまち垂水」というかたちでまちの将来像を掲げております。その意見に対しまして「九つの彩り」という将来像、現在のところ基本理念で九つの地域拠点ですと思われるが、基本構想に九つの柱をあげるなど「九」にこだわってみても良いのではないかとということでございます。「九つの彩り」が非常に魅力のある表現であるので地区の数だけではなく物足りないのではないかとというご意見を頂いたところでございます。こちらに関しましては、今後九つの地域、また今回この九つの地域の中にある自然でしたり文化、食そういったものを今後有効活用していかなければならないと思っておりますので、基本計画策定時であったり、今後の政策立案のときにこういった「九」というかたちでこだわっていければと考えております。

次のページをお開きください。8 ページ目になります。8 ページ目が第 2 部の第 2 章まちづくりの視点に関して意見を頂いたところでございます。こちらに関しましても 23 番目につきましては、現在基本構想の素案の修正作業の中で検討を進めているところでございます。

また 24 ページにつきましては次世代の人材育成の項目なのですが、中学生や高校生の公開講座で特に中学生のアンケートに関しまして永住希望者が 11.5%しかいないという現実にあまり触れられていないというご指摘があり、非常に大きな問題として考えておりますので永住希望者を少しでも増やす手立てを反映して頂きたいというご意見を頂いたところでございます。確かにご指摘のとおり垂水市が好きという方が、中学生が 8 割に対して住み続けたいと思うのが逆に 5 割以下という現状となっております。そうした中で今後、若年層の定住促進を取り組んだり、若い世代が活躍できる場作り、また若い世代が暮らしやすいと感じてもらう事が重要と考えているところでございます。そういった取り組みを今後進めることで、好きという気持ちと住み続けたいという思いのギャップを解消できるように取り組んでいく必要があるものと考えております。

次に 9 ページ目になります。第 2 部第 3 章まちづくりの目標につきましては、基本的に言えば垂水市人口ビジョンの設定に関してご意見を頂いたところでございます。こちらにつきましても基本構想の部分で今の素案におきまして垂水市人口ビジョンの考え方、それに沿ったかたちで総合計画の期間中の目標設定というのを掲げていますので、また改めて人口減少問題、人口減少に対する取り組みなど、基本計画の中でしっかり重点プロジ

ェクトだと、そういった位置づけで取り組み、方針というのをしっかり記載させて頂ければと思っております。

次に 10 ページ目になります。第 2 部第 3 章まちづくりの目標、同じように目標なのですが、こちらがまちづくりの各分野の目標についてご指摘をいただいているところがございます。こちらに対しては若干表現的な指摘もありますので、こちらも 10 月 15 日開催予定のフォローアップ公開講座の意見をふまえ、修正作業を進めていければと思っております。

最終ページ、12 ページになります。第 2 部第 4 章まちづくりの進め方で要望でしたり、ご意見をいただいているのですが、こちらの方も要望、情報発信とかそういったのに努めてほしいということでしたので、今後基本計画でしたりそういった中で、また公開講座の中でも情報発信に努めてほしいという意見も出されておりますので、基本計画策定時にそこも含めて庁内で検討を進めていきたいと考えております。33 番についても基本計画等で検討を進めていければと思っております。意見確認一覧の説明をさせて頂きました。

会長

… ありがとうございます。事務局の方から説明頂きましたが、まず、このご意見に対して質問があれば受けたいと思いますが、何かありますでしょうか。

僕が気がついたのが、僕が出した意見の 1 つが永住希望が 11.5%しかないということだったんですけども、この基本構想の 37 ページをみて気がついたのですが、円グラフが 2 つあると思いますが、愛着と永住をよく見てみると好きな人がずっと住み続けたいと、一時的に垂水市を離れてもまたこのまちに住み続けたいの割合が、ちょうど好きにあたるんですね。それで、まあまあ好きな人ほぼ皆様都会に行ってもそのまま暮らしたいとおそらく回答しておられるだろうと推測されます。それであまり好きではない人は住み続けたくないという答えだと思しますので、そこらへんを解析して愛着というのが永住にかなり密着に関係してくると思いますので、そういうことも少し考えられたらどうかと思いました。そんな事も含めてどなたかご質問とかありますでしょうか。なければ、この答申案をまとめていくにあたり、議論を進めていきたいと思っておりますけれども、この基本構想の 2 ページ開けて頂きますと物を考える時一番柱が大事になるのですが、考え方として 3 つの柱がありまして、1 つは市民参加、それから、前の総合計画の評価をふまえた計画にする。三番目が人口減対策、地方創生という事だと思います。この項目に対して皆様のご意見が頂ければありがたいなと思っております。

まずこの 1 番、市民参画の策定体制作りと市民の目線で分かりやすい計画とするというのがありますが、これに関しまして、確かに公開講座を開催しております。そこで市民のご意見をいただいているのは画期的だと思いますが、ここらへんにつきましては何かご意見等ありますでしょうか。

実際に参加された方とか、僕も参加していますが、参加されたイメージなど踏まえて何かご意見あればおっしゃって頂ければありがたいと思います。1つは先程ありましたが、公開講座のとりまとめを工夫してもらいたいという意見がありました。それ以外に何かありますでしょうか。1人1回は発言してもらいたいと思っております。

A委員 … 第4次のときは、今、おっしゃったような市民参画の点ではかなり大々的にやった記憶があるが、今回は、それほどやられたという感触を持っていないのですが、前回と今回の違いについてお聞きしたい。

事務局 … 前回の担当もしましたので、私の方で2つを比べて話をさせていただきます。今回は3回市民向けの講座をしました。100名くらい集まったのではないかなと思っているところです。同じ公開講座のレベルからすれば4次のときは約15~6回、700何人くらいの参加でした。大きな違いというのは、今回は高校生向けの講座もやった関係で、先程の100プラス高校生分の140名くらいの話なのだが、若い人の意見ということで小中学生のアンケート、高校生の講座を開催したという違いはあります。それからもう一点は、前回の総合計画の時には行き当たりばったりで講座運営をした関係で参加者は多かったですが、講座の質としては、なかなか今回みたいに精度の高い議論ができたかといえばそうではなかったと思います。今回は論点も非常に整理されテーマもタイムリーなテーマを3点ほど設定して、非常に密度の濃い講座になったのではないかなと思っております。

A委員 … 前回、大々的にやった時には市民の方々に相当参加して頂いたのですが、行政要望のような感じで要望の方が多くて、それをやってくれないのであれば、次はこないというような感じでした。市民の方々が履き違えているなという感じを私は思っていたものですから、今回の場合は前回は踏まえてしっかりとやって頂いたのだと思います。

会長 … 私も参加させて頂いたのですが、市民の方が自分で意見を述べられていて言いたい放題言ってくれて、それが良いのかなと思って、これが市制に反映されたら非常に良いことだと思います。参加させて頂いて、質が凄くよかったのかなと思います。他にこの市民参画について市民公開講座について、井之上委員、何かご意見ありますか。

B委員 … 私も公開講座に参加させて頂いたのですが、参加している方は市民の方というのは、割と決まった人なのかなと、声をかける人をインターネットとかそういうので募集をかけたらまた違う方も参加をできるのかなと思いました。いつもメンバーが一緒だと、これは言って良いのかなとこれは言ったらなというような気持ちの人が多かった気がします。

会長 … 確かにそうですね。今後こういうことを実施するのであれば、もう少し周知したほうが良いのかなと思います。

事務局 … 前回の4次の時の講座が募集をかけました。ただ、50人くらいは参加があったのですが、例えば全5回の講座でやりますとした時に、応募しても

来てくれなかったりですとか、いろんな市民意識の違いというのが前は反省点として残りました。今回は政策を突き詰めていかないといけないという時に鹿児島大学の先生方がおっしゃったのが、1回1回が継続であったりとか、せつかく学ぶ場でもあるということで、そこを参加した人が広げていったりとか、「次は一緒に行こうね。」みたいな広がり、展開というのを今後計画する際にやっていきたいと思いますので、参加された方がまた広げていけるような、そういう取り組みを考えていかないといけないと思います、ありがとうございました。

会長 …… 他にご意見よろしいでしょうか。

C委員 …… 今おっしゃったように、参加した人も「こういう講座があったんだよ」という事を一人一人発信じゃないですけど、「何かあの人たちはしてるよね」ではなく、市民の人たち「やっぱ自分たちのことだよね」という人を増やしていかないといけない。僕もこういう審議会をしているんだよというのをブログだったりフェイスブックだったりたまにアップして、こんな事をしていきますよというのをちょっとずつ広げていきたいなとやっているの、さっき、おっしゃったように自分も参加したよ、だからちょっと行ってみようというような草の根活動ではないですけど、そういった知の部分から、自分たちのことなんだなというのを意識づける点が必要なのでインターネットとかも活用して、あと口コミ等利用して広げていくのが大事なのかなと思います。

会長 …… ありがとうございます。確かに、やる気も出るし興味も出るし、良い事だと思います。他によろしいですか。僕が今話を聞いていて思ったのが、基本構想も少しあるかもしれないが基本計画でも「市民の声からでてきた計画です。」という事をはっきりと明記してくれたら市民はすごくうれいだろうなと、あの時の会で言った事がこうやって具体的に市は取り組んでくれるんだ、という事がわかるから、市民が喜んで出てきて喜んで自分たちの意見を言ってくれると思います。どこでも良いので具体的にこれがそうかというのがあると、お二人の意見を聞いていましたら、すごく市民の方は喜ばれると思う。次やった時そうやっていってくれると思うので、是非ともそうして頂ければありがたいなと思う。

C委員 …… 今回したのが高校生や中学生を対象に講座をしたのはすごく良いことで、それこそ、その子達が大人になった時にどんな垂水かということ自分たちの事だということ意識付けもできると思うので、それをされたのはすごくよかったと思う。

会長 …… よろしいでしょうか。市民参加ということで中高生が入られてとてもよかった。それから、公開講座ができたこと、市民への発信をすること、それから、その中で市民から出た意見によって市の構想なり、計画があるんですよということで意見を集約させていただくかたちでよろしいでしょう

か。あと、2番目、3番目ということで前回の4次の評価をふまえてということ、少子化、人口減対策、地方創生ということが書いてあるのですが、この点に関してはご意見ありますでしょうか。

A委員 … 第4次総合計画の評価、いわゆる総括をしたかという意見は必ず議員から指摘されると思います。意外とその視点がなくて、これをきちっと明記すれば評価に値すると考えております。是非やってください。

会長 … 他にご意見ないでしょうか。ちなみにそれを書いているのが第4章の部分になると思います。22ページになります。22・23ページがその総括の部分になると思います。

事務局 … 補足なのでですけど、市民満足度調査を計画期間中に5回実施しております。その中で医療体制の充実でしたり、働く環境の充実、あとは子育て支援も含めて人口減少というのに市民のニーズが高かったものですから、先程説明しました公開講座もこういった点に絞り込んだかたちで、テーマを絞って開催をさせてもらったという事になります。第4次の施策の検証結果に基づいたものとなっております。

会長 … ありがとうございます。そこはきちっと評価されていてよろしいのかなと思います。よろしいでしょうか。総括みたいなのをされるのは、よくあります。私が厚労省や文科省にテーマを出す時に前回の過程の総括を書かないといけないことがあります。要するに、こういうことがだめで、ということが良かったのかをポイントに5~6行とか、10行未満で総括を書くことになったものになります。それが今回なくてアンケートで終わっている気がするが、最初の部分に総括を示して、第4次総合計画の評価と総括みたいながあると、すごく締まるような気がします。そこは皆様が考えてみられたかたちだとは思いますが、それがあれば非常にわかりやすいかなと思います。どうでしょうか。それをちょっと加えていただいて、重要な文章になると思いますので、よく見られた方がよいと思います。

それでは2番目はそこで書いていただく事でクリアができるかなと思います。よろしいですか。3番目の人口減対策及び地方創生の実現という事が3本柱の1つとなっております。それに対して、垂水市にとって非常に大きな問題ですので、ご意見は多々いただいておりますが、それに対してご意見とかありますでしょうか。補足資料とかありますけれども、老年人口が39.8%、生産年齢人口が50.44%、年少人口が下から2番目の9.76%で湧水町にも負けている状況になっております。そういう事実がありますので、それを踏まえて人口減対策につままして何かご意見とかございませんでしょうか。

A委員 … 人口設定はどのように設定したのか。現実的な人口設定にするのか、ある程度希望を持たれた人口設定にするのか。

事務局 … 人口設定についてですけども、4次の時もでしたが、策定当時と現在の人口に対して社人研が推計している10年後の推計人口という公的な機関が

出しているデータを引用して、将来的に何もしなければこういう数字になりますよというものと、そこに施策展開を加えて、2,000人増やすという努力目標を加えた目標設定人口というのを設定させて頂きました。推計ではこうなるが、目標は1万8千人という現状維持というものを前回はさせて頂いたところですが、今回は地方創生の流れの中で平成27年に人口ビジョンを策定しました。その人口ビジョンというのは、60年間の人口の予測をするというもので、60年後の人口の見通しと、そこに施策展開でどういう推計パターンをとるかという資料でありました。そういう表現は24ページの方に出ているのですが、今回はその人口ビジョンに基づいてパターン4というパターンがあったと思うのですが、その数字をそのまま使わせてもらいました。要は、人口ビジョンとの整合性をとらせてもらいましたという基本的な考え方です。人口ビジョンでは60年後の話ですけれども、今回の総合計画は10年後の話になりますので、その人口ビジョンの中の10年後の部分を切り取って、パターン4の数字を使わせて頂きました。その結果が46ページの人口値の目標のところに出ていますけれども、今回の目標は推計ではこれだけという話ですけれども、パターン4の数字を加えて、第5次の目標人口は13,000人という設定をしていますというような考え方になります。

社人研の何もしなければのパターンと、独自のパターンと10年後の総合計画に載せていますけれども、その根拠は人口ビジョンであるということ。人口ビジョンの中でパターン4、独自推計の達成の条件というのを前提に算出している、ということでご理解をして頂ければと思います。

会長 … ありがとうございます。前回全く同じ質問をさせて頂きました。実は意見の中で、9ページになりますけれども結構ハードルの高い条件なのではないか。などの意見もでております。基本計画でしっかりとしたものをつくらないといけないですね。ここが崩れますと全てが崩れていきますので、特にこの人口割合を考えると46ページの上の四角のことが達成できれば、皆様の考える人口になるわけですね。そのあたりのハードルが結構高いのではと思いますけど、それを達成させる具外的な計画等がないと、基本構想の基本が崩れてしまいますので、岩元委員がおっしゃったことは非常に重要なことだと思います。

事務局 … 45ページのシミュレーションだと60年になっていますけれども、46ページには10年間の部分を切り取っています。独自推計の①を見て頂ければと思うのですが、直近の目標としては10年後、平成42年までにまず転入数と転出数が同数になる。社会減、自然減というマイナスをプラスマイナスゼロに近づける努力をすべきだというシミュレーションの話になっていますので、そこに有効な政策が打てるかどうかというのを確認作業をしながら展開をしていく必要があるなと思います。その後は、プラスになるためには若返りを図らないといけないので、43年以降は家族の移入政策的な

ところです。ここが上手く展開できるように、ですので、ここ10年間は人口の状況を見ながらインフラの整備とか住宅の整備、制度の充実とかそこらへんの展開を図っていく必要があるのかなと思います。

会長 … 他にご意見ありますでしょうか。今、ありましたけど、転入と転出は全く違う施策を考えないといけないと思います。転出を防ぐ施策はあるような気がしますけれども、転入を増やす事がそれほど多く反映されていないような気がしますけれども。という事は転出をかなり強化しなければいけないと考えられると思います。そこをかなりきちんとしなければ厳しいと思います。ほかに意見はありますか。

D委員 … 人口減少対策は、首都圏を除けば人口が減っていく方向にあると思いますが、今、面白いことを言われておりますのが、小学生、中学生の頃に田舎で暮らしたいという孫が増えてきているのだそうです。だから、ターゲットは孫にした方が良いでしょう。親もついてきますからね。今は子どもが都会にいるからUターンをしてこない。確かに移住促進策は、非常に大事だといわれています。どこの行政も移住してくる人には雌牛1頭あげたりとか、新築の家と家庭菜園付きに20年間住んで頂ければ無償であげたりという事をやっているところもあるそうです。ですから、自然の人口増加は無理だと思います。できれば移住促進策を充実させて、移住者を受け入れる体制を充実させた方が確実ではないかと思います。

会長 … ありがとうございます。今、テレビでも田舎で暮らそうをよくやっていますけど、政府のキャンペーンだと思います。ちょっと小耳に挟んだ話だと東京地区の税金を上げるという事を政府は考えているみたいで、そうすると東京には住まなくなるわけです。地方に住んでもらうためにはICTをちゃんと整備しないと地方に住んでももらえないと思います。地方で住める条件はICT化によって都会で住んでいるのと同じような暮らしができることが条件になると思います。例えば、アマゾンで買い物が普通にできて、いろんなアミューズメントで楽しめてということが条件だと思うので、ICTの整備がものすごく大事だと思います。それから、高齢者の見守りに関してもICTが一番重要なので、転入を増やすのは積極的に政策として必要だと思いますし、良いかなと思います。

他に、この人口につきまして、1つは人口の推計がかなり厳しいという意見。それから、転入転出に関して、転入ですと田舎暮らしの孫世代、そうすると孫を増やさないといけないですね。この年少人口じゃだめだという事ですね。孫世代を増やすという事は将来的にも重要ですので、基本構想の計画に反映できたら良いかなと思っております。他にご意見はありますか。

C委員 … 正直、どこの市町村も総合計画や人口増のプロジェクトというのは全部して、結局、言葉はあれですけどパイの奪い合いというか移住を促進しようというのはどこの地域もしている事なので、他の地域がしている事をし

ていても、多分、なかなか難しいと思います。本当に大胆な人口増のプロジェクトの強化が必要だと思います。他の地域が目を引きするような、そういうのはメディアが取り上げるでしょうから、こちらが言わなくても全国放送が取り上げるような特化するような政策がこれから必要なのかなと思います。

会長

… 確かにマスコミが扱ってくれるようなキャッチーなものが必要だと思います。だから、そこは重要ポイントだと思う。他にありませんでしょうか。この人口ではまちを支える事はできないと思いますので、真剣に取り組んでいかないといけないと思います。そうしましたら、三本の柱というところは、かなりご意見も出ましたのでこれを参考にしていって頂きたいと思います。

今度はこの基本計画の2章～3章にかけてですが、何かご意見等ございますか。

数値目標、いわゆる2章・3章は、数値目標がありそれが達成できたかと評価があり、それが見えるようにビジュアル化するということだと思うのですが、その中で特にここは重点をおいてですとか、何かご意見ありましたら、ありませんか？よろしいですか？

それでは、次は第4章にまいります。1つは先程議論がありました22ページのところにいわゆる第4次の総括をどのように市としてまとめたのかという事の総括をいれていただくというのが1つ、それをやる事によって市がどのような方向性、第4次をどのように捉えて第5次の方向性を考えているのかが見えてきますので、是非ともお願いしたいと思います。それ以外のところで、第4章のところで皆様のご意見とか、まずは、市民公開講座はもう少し内容をとりまとめられるという事でしたのでここはそれを待つ事にしたいと思います。確かに、あれだけいっぱい意見でしたので、それをまとめて頂ければ、ありがたいと思います。ほかにご意見よろしいですか。

ここからが本題の第2部の基本構想になります。基本構想ですが、ここでご意見を頂きたいと思います。私が意見を出していますが、「九つの彩り豊かに健やかな人を育むまち垂水」、と非常にイメージがわくキャッチーなコピーだと思ったのですが「九つ」というのがせつかくあるのであれば地区だけではなく、九つ何か柱があれば、九つのスポットに当ててやりますとかがあったらもっと良いのかなと思います。皆様いかがでしょうか。思いつきなのですが、何かキャッチーなものがあると市民の方がそれに向かっていけるかなと思っています。それから、第2部の基本構想1章の将来像、あるいは2章まちづくりの視点、3章の目標とありますけれども、あと、4章の進め方ですね。これを全部まとめてでも結構ですので、どなたかご意見ありましたらお願いします。45ページ、先程と同じことになりますけど、人口の設定が厳しいので、クリアしなければと思いますけれども。

どうでしょう。発言して頂ければと思いますが。

- A委員 … 九つの彩というのは九地区ですか。私は九つの項目があるのかと思いました。
- 垂水市の場合は、校区という意識が強くて、現に、第4次の総合計画の中では、地域振興計画が非常に成功したという例があるわけですから、それをまた踏襲していくのか。前例に倣ってだろうと思うんですけど、やっぱり、それぞれの校区ごとにしたほうがやりやすいという点はあるのかなと思います。全体計画もあって細分化したほうがやりやすいと思います
- 事務局 … 地域の方々が参加している意識みたいなものをつくるのには、この地域振興計画、市の大きな行政というひとつの柱はあるとしてもそれぞれの地域がそれぞれの活動を担保できているというかたち、そのことでその地区の住民の方がそれぞれの自分たちの自治に対する参加意識みたいなものが醸成されるということでは、すごく良い効果というのは現れているのではないかなという気はします。
- A委員 … 最近思うのが、どうしても人間は大きくまとまるより、小さく小さくまとまる。例えば、スペインのあの問題にしても、垂水の場合は、特に、私は新城というところなんですけど、新城あたりは、昔、村役場があったところでして、新城オンリー主義みたいな、垂水市新城自治区みたいな感じなんです。考えてみたら新城だけでなく、終原にしてもどこも同じかなと最近思うようになっていきますので、校区ごとに地域振興計画を作るというのは1つの方法かなと、現に、前回成功したわけですから、それについては異論はございません。
- C委員 … 今おっしゃったように10年計画、地域振興計画を大野地区が一番最初に行政の方から声をかけていただいて、策定を進めていき、去年、ことあるごとに地域振興計画がこうだったからこれに基づいて市役所の皆様にも相談をしていこう、基本になって上手く成功した事例だと思えますし、岩元委員もおっしゃったように、垂水は九つの地区があって「うちはこうだ」という意識が強いと思う。だから、そこは良いところでもあり、色々物事を進めていくのには難しい点でもあると思います。特に、中央地区は難しいと思います。大野地区は小さいのですが、それでもいろんな意見が出て、上手くまとまっていきましたが、だから、それを垂水市の九地区全体となると難しいところはあるが、地区を繋げていくコラボではないが、うちの地区とここの地区が何か取り組みができるとか、そういった役割とか、繋ぎ役を行政の皆様にはしていただいて、こういう提案とかしていただいて、1つずつ地域を繋げていくという取り組みも必要なのかなと思います。
- 会長 … バラバラだと良くないかなと思います。九つがお互いに良い点は伸ばして行って、それを上手くコラボしていくのが第5次なのかなと思います。あんまり9地区で転入しにくい、転入者がなかなか入ってきづらい市にな

ってしまったのかなと思います。大阪の豊中市というところは、人口 50 万人ぐらいでしたが、古い町だったので、比較的町内がしっかりしておりました。ルーズさがあって、人が入ってきやすい、あんまり固まりすぎると人が入ってきにくいけども、悪いとは思ってなくて、すごく良いことだと思う。人が入ってきやすい、しかも地区の歴史の良さを持ってやっっていくならよっぽどコラボを考えないといけないと思います。例えば、A 地区と B 地区、B 地区と C 地区というようにコラボをしていくと良いのかなと思います。それがさらに 2 地区が 3 地区に増えて 3 地区が 4 地区に増えて、この 2 地区がコラボして 4 になる。なにかそういうのができると垂水市として発展していくようなイメージがあって、そうすると比較的転入をしやすいかなと思います。今のご意見はすごく岩元委員、宮下委員、両方ともすごく良い意見が出ましたけれども、是非とも第 4 次でやったことと同じことだと仕方がないので、発展的にやるにはまず地区でちっとやってもらってが良いのかなと思います。

事務局 … 今すごく良い意見というか、先程、行政という言葉を使いましたが、第 4 次で地域振興ということをやって、大野を先駆けとして進めてきています。そして今、ちょうど中間地点に来て、後期の見直しをスタートさせる時に初めて地元がまとまってくると、次に医療であるとか、経済とかいろんな部分で自分たちだけではどうしようもない課題というものがやっとなってきます。そうするといかに連携をしていくかという横へのつながりというものがでてきます。そういう意味では、ちっと足場を固める。そして次のステージとしてそこをどう繋いでいくか、例えば、牛根の 3 地区をどう繋いでいくか、というような課題というのはどんどん見えてきますので、そういう意味では行政としての方向性みたいなものをとれるのかなと思います。これまでは、いろんなかたちで個人の意見として出てきていたものが地区としての意見で出てくるので、行政としても動きやすいし、方向性もとりやすいなという意味ではここを深めていくことは直接的に、最終的に住みやすい垂水市を目指すためにもすごく効果的なのかなという気はしております。我々の責任はそこらへんにあるのだと思います。

会長 … バレーボールチームと同じで一人ひとりを鍛えていくところから始まって、最後はチームというイメージですよ。同じイメージでおっしゃっていたと思いますし、話を聞きながら思っていたのが、垂水市というのは行政が引っ張るのではなく、市民が行政を引っ張るというイメージ図がかけると多分一番良いと思います。先頭に機関車があって、市民が行政を引っ張っていく。市民が九つの馬車に乗って引っ張っていくというイメージ。イメージ的に今回の市民公開講座とか行なってみて、それを汲み上げるということをする意味だと思います。市民が垂水市を引っ張っていく。市を引っ張るのは実は行政が引っ張られているというイメージがあると一番良いかなと思います。そうするためには、基本構想や計画に反映されたこと

はきちっと明記する。そうすると市民は喜ぶと思います。

他に将来像、まちづくりの目標、進め方等々で気になった点、不足している点とかありますでしょうか。良い基本構想ができるのではと思っておりますけども、妄想でも何でも言ったもん勝ちなので。言っていただいかまわないと思います。どうでしょうか。よろしいでしょうか。何か言い残したことはありませんか。一応、全員の声を聞くことができましたので、目標はクリアしています。

この基本構想を進めていく上で、皆様にご意見をお聞きしたいところは聞けたかなと思っています。あと、細かいところで、お気付きの点があればメールなり、何なりで事務局なり私でも結構ですのでご意見を頂けたらと思います。ほかに言い忘れたことないですか？なければ今日の基本構想の意見確認はかなり皆様良い意見を出して頂きましたので、ありがとうございます。この意見とパブリックコメントを吟味いたしまして、事務局と答申案のベースを作成し、皆様に見ていただく作業、今回は取りまとめ作業ということになりますのでよろしく願いいたします。以上で本日の協議は終了とさせていただきますが、何か追加の発言とかございますか。

それでは、発言がなければ、市長に一言ご挨拶を頂きたいと思います。

市長

… 皆様、お疲れ様でございます。上京しておりまして遅くなりました。昨日の夜は、東京のど真ん中で垂水のカンパチ・ブリ含めて食材のPRイベントがございまして行っておりました。読者の方々若い女性の方々、30人程の小さな会だったんですが、垂水のPRをしながら、食材を食べて頂きながら、リアクションを見ておりました。我々が想定している以上に宝物がいっぱいあるんだなと感じました。私に対して言うてくることはありませんでしたが、「こんなにおいしいんだ」とかそういうリアクションでした。やっぱり、宝物はいっぱいあるなということに改めて感じたところでございました。今日はほんと、毎回ですけれども皆様お忙しい中にお集まり頂きまして、協議を進めていただいているわけですけれども、今回から新たに岩元前副市長が入っていただいていることは大変心強いところでございます。どうぞよろしくお願いを申し上げたいと思います。

先程から、途中からではございますが、色々意見が出ている中でやっぱり我々の立場として何が一番大事かという垂水の発展、市民の皆様の幸福、それがどこにあるかという話になった時に、健康長寿や子育て支援の充実であったりする部分が大きいなと改めて感じるところでございます。そのためにどうやって経済を回していくかということを含めながら、今、まちづくりを進めているわけですけれども、垂水市は縦長37キロの国道を有していますので、なかなか一括りにできにくいところがあります。垂水市全体を良くしようと思うときにそれぞれの既存の地域の充実ということがありまして、第4次総合計画は地域振興計画、それが上手くいったということではありますが、変わらないために変わらないといけないことがあります。

ますので、同じことをやって良いのかと言いますと、なかなかそうはいかないと思います。人口減少社会の中で川が上から下にしか流れないように、同じことで衰退であるところが多いとは思いますが。九つの彩りを大事にしながら、その中で何かやっていけないといけないと思っているところがございます。色々申し上げたいこともございますけども、これで終わりますけれども、どっちに転ぶのかなという状況だと思います。日本全体が人口減少で衰退するところが多いと思えますけども、うちは色々な意味で可能性を秘めていると思っております。垂水の食を含めた、地の利も含めた、このプラスの部分が全面に出して、少しやりすぎなくらい、ぼちぼちやっていたら衰退ですので、早いんじゃないの、やりすぎじゃないの、くらいの気持ちで行かないと物事は進んでいけないと思えますので、そういう意味では10月1日に多目的グラウンドがオープンしまして、議会の先生方からも色々あったのですが、できてしまうといいのができたねという話になります。南の拠点も通常10年、20年計画なのですが、3年くらいで、来年の夏というお尻を区切って、AZホテルができたり、解体も始まっておりますので、そういう施設ができたなら、いいのができた間違いなく言って頂けると思えますので、いろんなことを慎重丁寧にしなければいけないのですが、スピード感を持って頑張らなければと思っておりますので、そのためには皆様方の積極的なご提案をいただいて、先生もおっしゃったとおり、言うのはタダですから、それをどう受け止めてかたちにするのかというのは、専門のプロの方がいらっしゃいますので、そこをご理解いただいて、こうあったらいいよねというような理想を語って頂きたいなと思えます。今日はほんとに大事な時間お集まり頂きまして、協議をして頂きましてありがとうございました。

会長 … 本会議は終了させて頂きます。どうもありがとうございました。

15 : 40 終 了